

平成 29 年度 FD 実施報告書

研究科・学部・学科	栄養科学部 栄養科学科
FD 取り組みへの理念・目標 21 世紀型管理栄養士育成に向けた教育システムのより一層の充実をはかり、質の高い管理栄養士を広く社会に送り出すために FD を通して教育環境の整備を行う。	
回数、期間、実施日等	実施事項・内容、実施組織、評価項目等
入学前教育に関して	入学試験合格者に対する入学前準備講座および入学前 WEB 講座の参加率等の報告、さらに本年度の奨励課題について、学科全体で共有した。(三成学科主任：5 月 25 日、9 月 28 日、1 月 26 日)
入学後の導入教育に関して	① 新入生にプレイスメントテストを実施して、結果の総括を行った。(山根教授：5 月 25 日) ② 初年次教育を行った際の振り返りシートの結果をまとめて、学生の感想・意見。要望に関して共有し、今後改善すべき点について検討した。(萩尾准教授：1 月 26 日)
専門教育としての導入教育に関して	① 模擬患者実習 (SP 実習) を行うに当たって、昨年度の振り返り、症例に関する詳細な検討、模擬患者との意見交換を行い、より質の高い実習にするために何をすべきかを検討した。(岩本教授：5 月 16 日、6 月 13 日、6 月 14 日、7 月 26 日) ② 平成 30 年 3 月 6 日に、臨地実習 II (病院実習) に関する連絡協議会を開催し、外部の管理栄養士 44 名、学内教職員 37 名、事務局 5 名の計 86 名が参加した。「平成 30 年度診療報酬・介護報酬同時改定について」のタイトルで九州中央病院の渡辺啓子先生より情報提供をしていただき、大学および実習施設双方において、臨地実習のあり方について理解を深めることができた。(今井教授)
国家試験対策	年間 6 回の管理栄養士国家試験対策委員会を開催し、特に成績下位者に対する指導方針について検討し、学科会議で教員全員に周知した。(原国試対策室長)
若手研究者の啓発と育成その他	平成 30 年 2 月 22 日に、栄養科学部・食物栄養学科合同研究大会が開催され、本学科からは、木村教授と日野准教授がこれまでの研究成果を発表した。 ① 気になる学生についてのアンケート調査結果について報告 (熊原准教授) ② 授業の際の学生への配慮に関して (視力低下、クローン病、過敏性大腸炎) (河手教授、安武准教授) ③ 高大接続ワーキンググループからの報告と学科内での検討 (特に入試制度変更に関して) (安武准教授)

「教育システム改革 2014 (FD2014)」の進捗状況 （大学院は該当する項目のみ記入）

項目	主な実施内容	進捗状況	補足説明
体系的な教育課程の編成	ナンバリングの導入	☐ 未着手 ☒ 検討中 ☐ 実施中 ☐ 実施済	実施に向けて検討を行っている。
授業科目の組織的な管理	ルーブリックの導入	☐ 未着手 ☒ 検討中 ☐ 実施中 ☐ 実施済	学科において実施可能か検討中である。
教員の教育力に対する評価の導入	授業アンケート結果の組織的な活用	☐ 未着手 ☐ 検討中 ☐ 実施中 ☒ 実施済	学科全体で授業アンケートの結果を共有し、授業内容の改善に取り組んでいる。
教育方法の改善	アクティブラーニング (特に PBL) の推進 PBL : 課題解決型授業	☐ 未着手 ☐ 検討中 ☒ 実施中 ☐ 実施済	本学科の教員全員が、個々のスタイルでアクティブラーニングを推進している。
グローバル教育の推進	グローバル教育の導入	☐ 未着手 ☐ 検討中 ☒ 実施中 ☐ 実施済	本学 4 年生が、「トビタテ留学 JAPAN」に採用され、ニューヨークで一汁三菜弁当を販売し注目された。 本年度も 1 名の採用が決定している。
高大接続教育の推進	高大接続教育の推進	☐ 未着手 ☐ 検討中 ☒ 実施中 ☐ 実施済	高校生対象の出前講義・模擬授業を積極的に行っている。